

年 組 名前：

「くまモン」のグッズ 道の駅富士川が販売



収益金全額 震災義援金に

富士川町青柳町の道の駅富士川は9日、熊本地震を受け、熊本城周辺の売店などから買い取った熊本県のPRキャラクター「くまモン」のグッズの販売を始めた。グッズの収益金は全額、町を通して義援金として被災地に届けられる。

道の駅の藤巻睦久社長が2009年から約2年間、熊本県内で生活していたことや、従業員の芦沢さと美さん(62)の家族が同県内で働いていることから、支援を申し入れた。9日から当面の間、同県内の3事業者から買い取ったくま

販売している「くまモン」グッズのコーナー
＝富士川・道の駅富士川

モングッズを販売する。

グッズはぬいぐるみやポストカード、うちわなど約200品目を展開していて、今後、食品にも拡大する方針。売り場には、書道をたしなむ芦沢さんが「少しでも力になりたい」という思いを込め、「山梨から熊本へエールを!」「がまだせ」と書き上げたポツも掲示している。「がまだせ」は熊本の方言で「頑張れ」を意味するという。

藤巻社長は「災害時は互いに助け合い、協力することが大切。多くの人にくまモングッズを使ってもらい、熊本にエールを送りたい」と話した。
〈皆川陽登〉

(2026年8月10日付 山梨日日新聞16面)

問1 道の駅富士川で、「くまモン」のグッズの販売を始めた理由を教えてください。

.....

問2 販売している「くまモン」のグッズには、どのようなものがありますか。

.....

問3 「がまだせ」は熊本の方言で、なにを意味しますか。

.....